

前橋市SDGsパートナー取組概要等

(フリガナ) 企業・団体名	ヤマソエウンユカブシキカイシャ 山添運輸株式会社					
U R L	https://sites.google.com/view/yamazoe-transport/					
SDGsの達成につながる取組・活動の概要	<p>弊社の営んでいる一般貨物自動車運送事業とはまた別事業で「DPFマフラー分解洗浄サービス」という事業をおこなっております。この事業は、車両部品の「交換」から「再生利用」への転換を促進することで、環境と経済の好循環を生み出す、持続可能な社会に不可欠なサービスであると言えます。 弊社の具体的な取組・活動の概要としまして、目標12の「つくる責任 つかう責任」に対し、【製品の長寿命化・省資源化】 新品のDPFに交換する代わりに、既存のDPFを洗浄・再生することで、廃棄物を削減し、新たな製品製造に伴う資源（貴金属やセラミックなど）の消費と環境負荷を大幅に抑制します（リユース・リサイクル）。目標13の「気候変動に具体的な対策を」に対し【温室効果ガス（CO2）の削減】 DPFの性能が回復することで、エンジンの排気効率が改善し、燃費が向上します。これにより、走行時に排出される二酸化炭素（CO2）の削減に貢献します。また、新品製造時のCO2排出も抑制できます。目標11の「住み続けられるまちづくりを」に対し【大気汚染の改善】 DPFはディーゼルエンジンから排出されるPM（粒子状物質）を捕集・除去する装置であり、その機能回復を弊社がおこなう洗浄工程を実施し確実にすることで、地域社会の大気汚染（PM2.5などの微粒子）を抑制し、公衆衛生の向上に貢献します。目標3の「すべての人に健康と福祉を」に対し【公衆衛生の向上】 PMは呼吸器系疾患などの原因となる有害物質です。DPF洗浄により排ガス浄化性能を維持・回復させることは、間接的に大気汚染による健康リスクを低減し、人々の健康維持に貢献します。目標8の「働きがいも経済成長も」に対し【コスト削減と業務効率化】 燃費改善による燃料費の削減や、高価なDPF交換費用の削減は、特に運送業などの企業経営の安定化に貢献します。また、再生頻度の低下や再生時間の短縮は、ドライバーの業務効率向上と働きがいにつながります。</p>					
関連するSDGsのゴール						
			○			
						
		○			○	○
						SDGsの普及啓発
	○				○	

SDGsの達成に向けたアクション宣言

弊社の取り組みからDPF洗浄事業が特に関係する以下の3つのゴールを重点目標とします。12番の[つくる責任 つかう責任に対し]【資源の効率的な利用促進】 高価なDPF部品を新品に交換するのではなく、高度な分解洗浄技術により性能を回復させ、製品の長寿命化とリユースを徹底します。これにより、希少な資源の使用と廃棄物排出の抑制に貢献します。 13番の[気候変動に具体的な対策を]に対し【CO2排出量の削減】 DPFの目詰まりを解消し、エンジンの排気効率と燃費を改善することで、お客様の車両から排出されるCO2の削減に貢献します。また、新品DPF製造時のCO2排出を抑制します。 11番の[住み続けられるまちづくりを] に対し【大気汚染物質の低減】 DPFの持つ排ガス浄化機能を確実に回復・維持させることで、PM（粒子状物質）などの有害物質の大気中への排出を最小限に抑え、地域住民の健康を守る「クリーンなまちづくり」に貢献します。

<取組・活動に関連する図・写真等>



《「DPFマッパ-分解洗浄サービス」という事業》